

「169のころ」

お外大好き2歳児さん。3歳以上児さんの姿に憧れ、園庭のジャンピングマットやターザンロープ、うんていや木登りまで、いろんなことに挑戦しています。

ある日、ターザンロープをしようと登っていたけれど、足がすべってうまく登れずにいたSさんに気づいたAさん。さっと手をのばしてからだを支えてあげようと「だいじょうぶ?」「よいっしょ!ってしてあげる!」と声をかけていました。

Sさんもなんとか踏ん張り最後まで無事登ることが出来ました。その姿を見て「よかったね。」と満足そうにSさんを見上げるAさん。

今までは、支えてもらったり、手伝ってもらったりすることが多かった子どもたちですが、少しずつ自分で出来ることが増え、自信となり友だちとの絆が深まりつつあります。





いつのまに、こんな^{なごみ}中間意識^しが育^{はぐ}まれていたのでしょう。これまで、みんなが何かを成^なし遂^なげる^し経験^{けん}を重ね^かまってきた絆^{きずな}... お褒^{おほ}めだけでは^あ足りない^{ちが}力^{ちから}です。わすから、6歳^{さい}の子^こどもたちの^{こころ}の中^{なか}には、
大人^{おとな}が^{おも}う^{より}以上に、もうこんなにも^あ優^{やさ}しい^{こころ}がある^あるのだ^うですね。

保護者の皆様におかれましては未満見さんの”The One” on the Stageへのご参加、また急な行事変更や学級閉鎖に伴うご協力を頂きありがとうございました。

少し前のこと。園庭に沢山落ちた葉っぱで遊ぶ子どもの1人が、落ちた紅葉を見て「虹色の葉っぱだ・・・」と呟きました。「素敵だね、これでクッション作ったら気持ちよさそう。」と私も呟くと、夕暮れ時、透明の袋に虹色葉っぱをぎゅうぎゅうに詰めたクッションを恥ずかしそうに事務室に持ってきてくれました。

そして「優しい気持ちになれますように。」そう言ってプレゼントしてくれたのです。私は思わずその子を抱きしめてしまいました。

相手を想うこと。これこそが何より素敵なプレゼント。

今年1年間、私たち職員は保護者様とお子様から数えきれないほどの「温かな想い」を頂き、私たちの日々を支える原動力に変えさせて頂きました。心より感謝いたします。来年もご一緒に「想い」を重ね、子どもの幸せへと繋いでいくことができたらと存じます。

どうぞ皆さま、大切な人への温かな想いに包まれて、良いお年をお迎えください。

